

# 11月講演会にご参加を!!

同封チラシでご案内の通り11月27日に講演会を行います。

2004年6月に小田実さんら9名の呼びかけで「九条の会」が発足。その呼びかけに呼応して、全国各地域や職場で続々と「九条の会」が生まれました（私たち芦屋「九条の会」もその一つです）。今回講師の渡辺治さん（一橋大学名誉教授）は、小森陽一事務局長や高田健さんたちと一緒に「九条の会」のスタート時からその運営に携わり、長年にわたり護憲の運動をリードしてこられました。



また、渡辺さんは憲法問題の第一人者として、全国各地で講演を続けておられます。ともすれば難しいテーマや問題も明確でわかりやすく、参加者を飽きさせない話しぶりに定評があります。

今、ウクライナや東アジアなど国際情勢が大きく変動しています。安倍政治を継承する岸田政権下で、今年の衆院選や今年7月の参院選を

経て、防衛力強化の名のもと新たな改憲の危機が迫っています。永年守り続けている『9条のバトン』を次の世代に渡すために、私たちは何をなすべきかの道しるべについてもお話しいたします。

皆さん、講演会に是非ご参加いただき、一緒に考えましょう。

## 非戦の誓い「9条の輝き」

～改憲と軍備増強で平和は確保されるのか？～

11月27日(日) 14:00～16:30

講師：渡辺治さん(一橋大学名誉教授)  
芦屋市民センター 401室

## 日本国憲法施行75年 神戸・憲法集会

日本を戦争に向かわせないために  
～今こそ市民が前面に立つとき～

11月3日(木・祝) 12:30～

講師：伊藤千尋さん(ジャーナリスト)  
長田区文化センター大会議室  
主催：兵庫県憲法会議



## 戦争と飢餓

10月16日は世界食料デーです。「世界の食料問題を考える日」として国連が1981年に決めました。最も重要な基本的人権である「食料への権利」を現実のものにし、世界に広がる飢餓、栄養不良、極度の貧困を解決することを目的としています。

芦屋でも世界食料デー芦屋大会で世界の飢餓を無くそうと呼び掛ける運動をしています。食料問題が戦争を無くす大きなカギです。食の不平等に対する怒りが社会変革を生んできました。経済格差の高低差が大きいほど、平にしようという破壊力は増します（エントロピーの法則）。そういう力や怒りを利用して戦争に民衆を動員しさらなる金儲けをしようという巨悪が存在します。そういう戦争を繰り返さないというのが日本国憲法の考えであり、憲法9条の戦争放棄を支えるのは、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼」ということだと思います。6月の藤原辰史さんの講演では、食料確保のための技術革新が、新型兵器を生み出す技術革新と繋がっていることを知りました。

芦屋国際児童画展では、飢餓対策の援助を受けている地域の子どもが送ってくれた生活画を展示してきました。いくつかを紹介します。

子どもたちの未来のために、どうすればいいか。第1に緊急援助。第2に現地の人々の努力が報われるような飢餓克服のシステム作り。第3は、ずっとやり続けなければならない、人類の格差を無くす仕組みを作る努力だと思います。（奥野泰孝）

(2018年バングラ児童労働16才)



(2000カンボジア兵隊になる夢10才)

